



平成25年度 国土交通省大臣官房物流審議官表彰

## 鉄道モーダルシフトによる化成品輸送の効率化

～石油貨車&化成品タンクコンテナ専用列車の誕生による液体品輸送の新たな可能性～

### 事業者（◎：代表者）

- ・ 日本オイルターミナル株式会社◎
- ・ 信越化学工業株式会社
- ・ 日本貨物鉄道株式会社
- ・ 株式会社ボルテックス セイゲン
- ・ 神奈川臨海通運株式会社

### 事業概要

化成品の原料であるメタノールについて、貯蔵タンクの建設と専用タンクコンテナの開発によりモーダルシフトを実現した。また、韓国経由で輸入していたメタノールの一部を日本直送とし、物流の効率化を図った。

### 本取組のポイント

- 荷主と物流事業者の協力により、メタノール貯蔵タンクの建設と専用タンクコンテナの開発を行ったことにより、鉄道輸送へのモーダルシフトが実現した。
- モーダルシフトの実施に伴い、メタノールの出荷地を3カ所から1カ所に集約するとともに、韓国経由で輸入していたメタノールの一部を日本直送とし、調達物流の大規模な再編を行った。

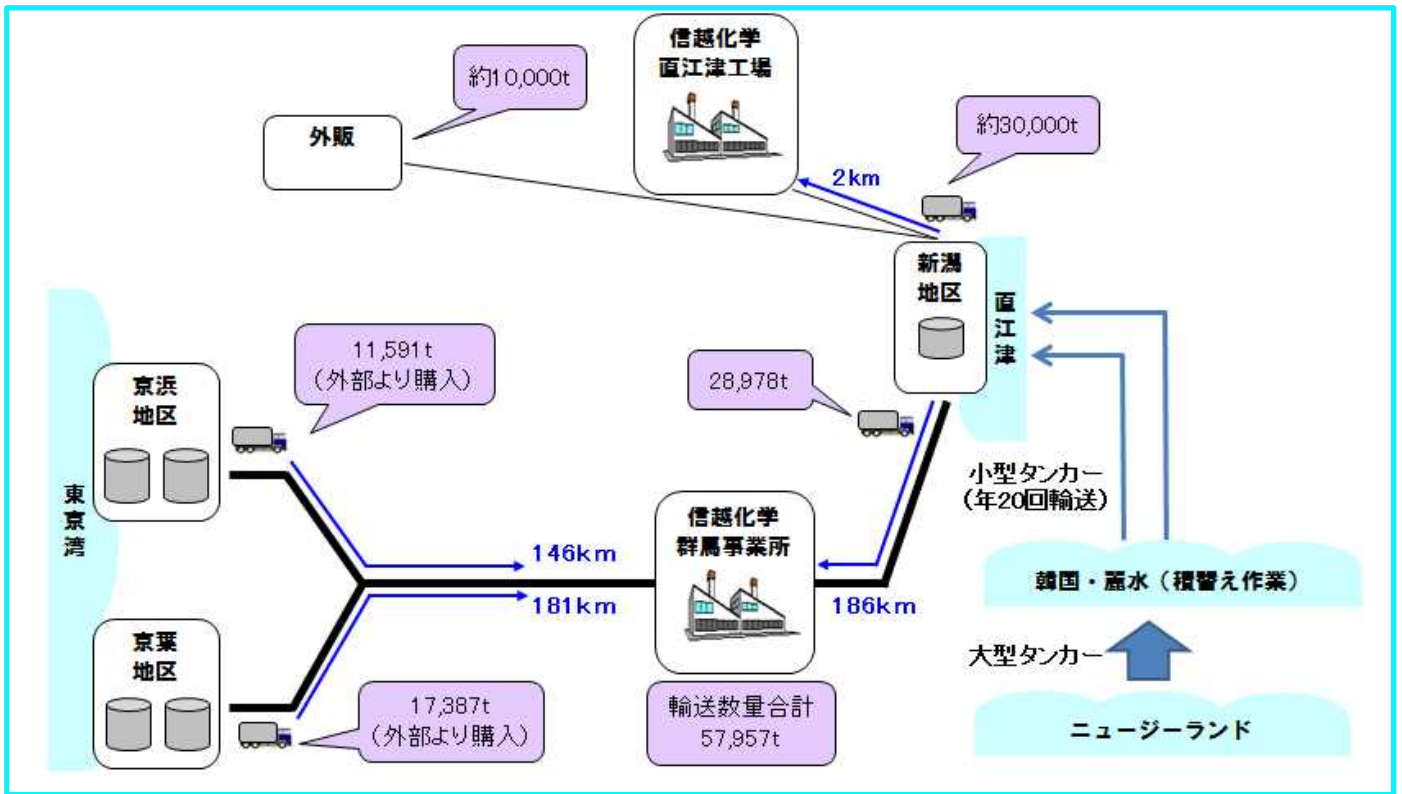
◎ CO<sub>2</sub>排出削減量 338.4トン

◎ CO<sub>2</sub>排出削減率 55.2%

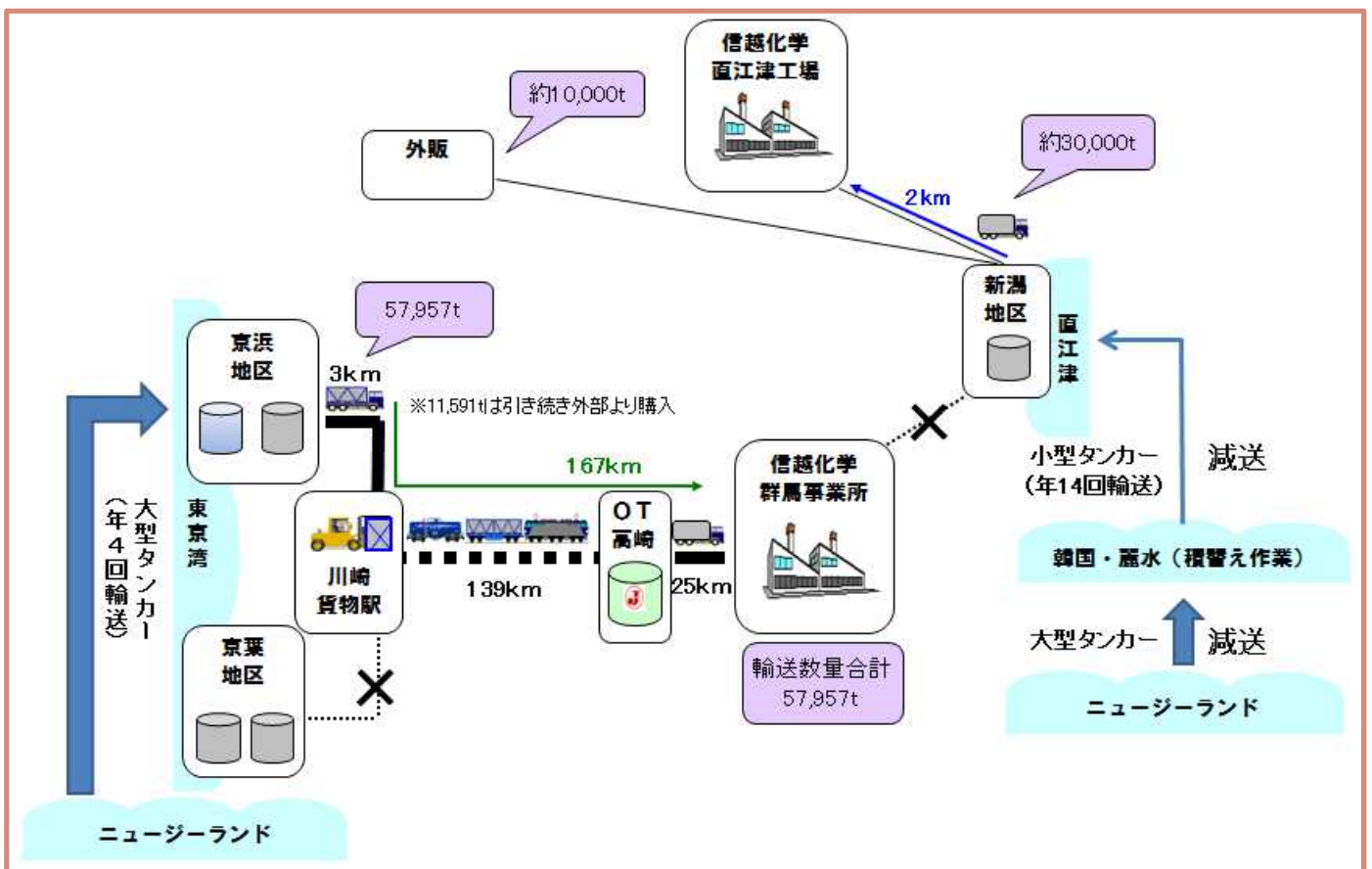


専用タンクコンテナを開発し、鉄道輸送を実現

# 実施前



# 実施後





平成25年度 グリーン物流パートナーシップ会議特別賞

### ～共同配送の更なる進化にむけて～

卸店との連携で実現した共同配送の納入待機車両削減によるCO2削減

#### 事業者（◎：代表者）

- ・ 若松梱包運輸倉庫株式会社◎
- ・ カナカン株式会社
- ・ 北陸中央食品株式会社
- ・ 株式会社北陸リョーシヨク

#### 事業概要

卸店への食料品の配送について、決められた配送時間を厳守することでスムーズな荷下ろしを実現し、アイドリングによるCO2排出をゼロにすることに成功した。

#### 本取組のポイント

- 物流センターでの仕分け時間短縮や効率的な配車を実現するため、メーカーに対し、出荷時に可能な範囲での仕分けと優先出庫を依頼。
- 卸店の指定する納入時間を厳守することで優先的な荷下ろしを実現し、待機時間とそれに伴うアイドリングをゼロにすることに成功。

◎ CO<sub>2</sub>排出削減量 4.1トン  
◎ CO<sub>2</sub>排出削減率 100.0%



納入時間の厳守により、優先的な荷下ろしを実現

# 実施前

メーカーから物流センター、そして卸店に配送する際、メーカーでの作業開始時間がどこも同じ時間なので最終地である卸店への配送時間も同じ時間に集中。



# 実施後

待機車両問題に対し、メーカー、卸店と協議を重ね、出荷倉庫の店別仕分け、物流センターの仕分け・配車の改善、卸店の荷受体制の改善などにより、定時配送を実現。

